

第八十一回帝國議會 藥事法案外二件委員會會議錄(速記)第十回

付託議案 藥事法案(政府提出、貴族院送付) (第六三號) 船員保險法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) (第六四號) 軍事扶助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) (第六五號)

昭和十八年二月二十六日(金曜日)午後一時八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 清水留三郎君

理事大石 齊治君 理事勝又 春一君

理事小泉 純也君 理事田中 藤作君

理事竹内 俊吉君 理事渡邊 健君

赤間 德壽君 逢澤 寛君

伊藤東一郎君 池本甚四郎君

今牧 嘉雄君 上田 孝吉君

大島 寅吉君 岸田 正記君

齋藤 憲三君 佐藤 芳男君

菅又 薫君 杉山元治郎君

高見 之通君 武知 勇記君

公原 公君 中井 一夫君

西尾 末廣君 坂東幸太郎君

深澤豊太郎君 深澤 吉平君

藤本 捨助君 星 一君

松本治一郎君 山崎 常吉君

出席國務大臣左ノ如シ 厚生大臣 小泉 親彦君

出席政府委員左ノ如シ 厚生次官 武井 群嗣君

厚生省衛生局長 灘尾 弘吉君

厚生省保險局長 平井 章君

軍事保護院副總裁 藤原 孝夫君

軍事保護院援護局長 高辻 武邦君

厚生書記官 木村忠二郎君

厚生書記官 菊池 武夫君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

藥事法案(政府提出、貴族院送付)

船員保險法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

軍事扶助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○清水委員長 藥事法案外二件ノ委員會ヲ開會致シマス、大體ニ於テ質疑應答ハ終了シタノゴザイマシタガ、委員長ト致シマシテ從來ノ質疑ニ漏レタ點、及ビ更ニ政府ノ意思ヲ確カメテ置キタイト云フ點ニ付テ、六箇點厚生大臣ニ御伺ヒ致シタイトデアリマス、時間ヲ省略スル意味デ總括シテ申上ガマスルカラ、厚生大臣モ總括シテ御答辯ヲ願ヒタイトデアリマス

第一、國民體力ノ向上、人口ノ増強ヲ目的トスル本案提出ノ趣旨ヲ達成スル爲ニハ、獨リ藥劑師ノミナラズ、藥種商、製藥業者其ノ他藥事關係者ノ總動員ヲナスヤウ、本法運用ニ付キ最善ノ努力ヲナスベキダト思フガ、政府ノ所見ハドウカ

第二、大東亞共榮圈内地ニ活動スル大和民族ノ保健衛生ニ資スルト共ニ、圈内各民族ヲシテ、各ノ所ヲ得シムル爲ニハ、是等諸地域ニ對シ、醫藥品ノ供給ヲ適正ナラシムル要アリト思フガ、政府ノ所見如何、又大東亞共榮圈内ニハ、天賦ノ醫藥資源極メテ豊富デアルコトハ、現在既ニ明カトナツテ居ル、是等ヲ開發利用シテ醫藥品供給ノ素地ヲ作ルコトハ、刻下ノ急務ナリト考

ヘラレルガ、政府ハソレ等ニ對シ、如何ナル用意ガアルカ

第三、醫藥品供給ノ現狀ニ鑑ミ、現下戰時態勢ニ即應シ、醫藥品供給確保ヲ圖ル爲ニハ、現在ノ如ク錯雜多岐ニ互ル醫藥品ノ品目ニ付テ、徹底セル整理ヲ斷行スルト共ニ、醫藥品ノ生産配給並ニ貯藏ノ各方面ニ互リテ、現在ノ機構ニ付キ、相當ノ強化改善ヲナスコト緊切ナリト認ムルガ、之ニ對スル政府ノ所見如何

第四、患者ノ支拂フ醫療費ノ如キ加重ハ、醫師ノ藥價ニ對スル國家的制限ナキガ爲デアル、仍テ政府ハ此ノ際藥價令ヲ制定シテ、醫師ノ調劑藥價ト藥劑師ノ調劑藥價トヲ統一スル意思ハナイカ

第五、現行藥品營業並藥品取扱規則ニ基ク指定藥品ノ品目中ニハ、現下ノ實情ニ照シ削除スルヲ適當ト認メラルモノモアル、政府ハ本法案第二十三條第二項ノ規定ニ基ク命令ヲ發スル場合ニ於テ、其ノ品目中再檢討ヲナス要アリト考フルガ、ソレニ對スル所見ヲ承リタイ

第六、農業用藥品中ニハ、毒性劇性ノ強イモノガ少クナイガ、所ニ依ルト藥劑師等ノ適當ナル責任者ナクシテ、大量ノ取引ガ行ハレテ居ルコトヲ聞ク、是ハ極メテ危險デハナイカ、本法案ニ是等農業藥品ヲモ包含シ、取締ノ徹底ヲ圖ル要アリト思フ政府ノ所見如何、以上六ツノ質疑ニ對シマシテ、厚生大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小泉國務大臣 只今ノ御尋ネニ對シマシテ御答ヘヲ申上ゲマス

第一、藥劑關係者ヲ總動員スル爲ニ、本法ノ運用ニ關スル御尋ネニ對シマシテ御答ヘ申上ゲマス、藥事法所期ノ目的ヲ達シマスル爲ニハ、御話ノ通り關係アル總テノ方方ノ格段ノ御努力ヲ御願ヒ致サナケレバナラナイノデアリマシテ、御話ノ點ニ付キマシテハ全ク同感デアリマス、御趣旨ノ點ニ付キマシテハ本法案運用上十分ニ意ヲ用ヒマシテ、所期ノ目的ヲ達成スル爲ニ、萬遺憾ナキヲ期シタイト存ズル次第デアリマス

次ニ第二ノ御尋ネニ付キマシテ御答ヘヲ申上ゲマス、即チ大東亞共榮圈ニ對スル醫藥品ノ供給、並ニ資源開發ニ關スル御尋ネデゴザイマスルガ、大東亞共榮圈ニ對スル醫藥品ノ供給ノ確保ト、其ノ醫藥資源ノ開發利用ノ緊要デアリマスコトハ、全ク御説ノ通りデアリマシテ、現在醫藥品ノ供給ノ確保ニ關シマシテハ、國內ニ於ケル生産力ノ擴充ト、極力供給力ノ増強ニ努メマスルト共ニ、關係方面ト一層連絡ヲ密ニ致シマシテ、一定ノ計畫ニ基イテ、是ガ供給ノ方途ヲ講ジテ居ル次第デアリマス、又南方醫藥資源ノ開發利用ニ付キマシテハ、其ノ狀況ノ調査ヲ行ヒマスルト共ニ、是ガ集荷ノ爲メ必要ナル措置ヲ講ズル等、遺憾ナキヲ期シテ居ル次第デアリマスルガ、今後益、關係各方面ト協力一致致シマシテ、各般ノ施策ヲ整備シ、御趣旨ニ副ヒタイト存ジマス

次ニ第三點、醫藥品ノ品目整理並ニ醫藥品ノ生産、配給、貯藏等、各方面ニ互ル機構ニ關スル御尋ネニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、醫藥品供給ノ確保ニ關スル御意見ハ、洵ニ御同感デゴザイマス、醫藥品ノ品目ノ整理ニ付キマシテハ、現ニ一部進行中デアリマスルガ、政府ニ於キマシテハ全般的ノ研究ヲ加ヘマシテ、速カニ其ノ實現ヲ期シタイト存ズル次第デアリマス、次ニ生産、配給等ノ機構ノ改善強化ニ關シマシテモ、具體的方策ニ付キ鋭意考究シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、事態ノ推移ニ即應シテ、必要ナル機構ノ整備ヲ圖リ、醫藥品ノ供給ニ萬全ヲ期シタイト存ズル次第デアリマス

次ニ第四ノ御尋ネ、醫師ノ調劑藥價ニ關スル問題デアリマスルガ、醫藥費ノ適正ヲ期シマスルコトハ、國民保健ノ見地カラ最モ肝要ナルコトデアリマス、仍テ醫師ノ受クベキ醫療報酬ニ關シマシテハ、先ニ制定セラレマシタ國民醫療法ニ規定ガ設ケテアルノデアリマス、醫師ノ藥價ニ付キマシテハ、之ニ依リマシテ規正シ得ルノデアリマシテ、藥劑師ノ調劑報酬ニ付キマシテハ、本法案第二十條ニ其ノ規定ヲ設ケラレテ居ル次第デアリマス、而シテ今後藥價令ノ如キモノヲ定メマシテ、兩方ヲ一緒ニ規定スルカ否カニ付キマシテハ、兩者ハ密接ナル關係ヲ有スルモノデモアリマスルカラ、今後十分考究シテ見タイト思ヒマス

次ニ第五ノ御尋ネノ點デアリマスルガ、現行藥品營業及ビ藥品取扱規則ニ基キマスル指定藥品ノ品目ノ再檢討ニ關スル御尋ネニ對シマシテ、御答ヘヲ申上ゲマス、御話ノ如ク現在ノ指定藥品ノ品目ハ、前ノ改正

以來既ニ相當ノ年月ヲ經過シテ居リマスルシ、或ル程度再檢討ヲ加ヘル餘地ガアルノデハナイカト考ヘラルル點モゴザイマスルカラ、御趣旨ヲ尊重致シマシテ、能ク檢討致シタイト存ジマス

次ニ最後ノ御尋ネノ點、即チ農藥用藥品ノ取締ニ關スル問題デアリマスルガ、農藥用藥品ハ醫藥品デアリマセヌ爲ニ、其ノ中毒性、劇性ノ強イモノニ付キマシテモ、本法案ノ適用ヲ受ケルコトト致サナカツタノデアリマス、而シテ是等ニ付キマシテハ、現在毒物劇物取締規則ニ依リマシテ、取締ヲ行ツテ居ル次第デアリマスルガ、御話ノ如ク取締上注意ヲ要スベキ點ガアルト致シマスレバ、今後一層留意致シマシテ、取締上遺憾ナキヲ期スルヤウ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、以上御答ヘヲ申上ゲマス

○清水委員長 之ヲ以チマシテ三案ニ對スル質疑ハ終了致シマシタ、是ヨリ藥事法案、船員保險法中改正法律案、軍事扶助法中改正法律案ヲ、一括議題トシテ討論ニ付シタイト思ヒマス——小泉君

○小泉(純)委員 本委員會ニ付託ニナリマシタ藥事法案、船員保險法中改正法律案、軍事扶助法中改正法律案ノ三案ニ付キマシテハ、委員會開會以來二十數氏ノ委員諸君カラ熱心ナル質疑ガ行ハレ、政府當局亦懇切丁寧明確ニ答辯ガ行ハレマシテ、本案ノ意圖スル所、其ノ運用等總テガ明カニセラレタノデアリマス、大東亞戰爭ノ完遂、戦力増強ノ基底ニ立ツ國民保健ノ維持向上ノ見地カラ致シマシテ、私ハ最モ緊切妥當ナル法案デアルト認メマシテ、原案贊成ノ意ヲ表明スル次第デアリマス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○清水委員長 別ニ御異議モナイヤウデアリマシテ、討論ハ終局致シマシタ、是ヨリ採決致シマス、各案共原案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

(議員起立)
○清水委員長 起立議員、仍テ各案トモ何レモ原案通り可決致シマシタ(拍手)
委員長ト致シマシテ御挨拶申上ゲマス、藥事法案外二件ノ審議ニ對シマシテハ、各委員ヨリ熱烈ナル御質疑ガアリマシテ、政府ヨリ又誠意アル御答辯ヲ承ツタノデアリマス、委員各位悉ク御満足ノコトト思ヒマス、無事ニ原案通り可決セラレタコトヲ委員長トシテ厚ク御禮ヲ申上ゲマス、之ヲ以テ此ノ委員會ハ散會致シマス(拍手)
午後一時二十二分散會